

いのちと
健康を守る

浅野さち通信

発行：浅野さち 047-334-1111(公明党控室)



その他の要望書について

その他にも3月には「コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望」

4月には、「3月13日に発生した豪雨に対する教訓から市川市の更なる治水対策についての要望書」

7月には、八街での事故をうけ、「通学路における安全対策の緊急要望書」を提出しました

村越市長へ要望書を提出

私たち公明党は、日頃より小さな声を聴く力公明党として皆様から様々伺っております。

特にコロナという未曾有の感染症により皆様の生活は一変致しました。昨年からは緊急要望を6回市長に提出し、近々では8月16日「現役時代および若年世代に対する円滑なワクチン種に向けた要望」を提出致しました。主な内容は

- ① 現役世代に対するワクチン接種の機会をより創出するため、平日夜間接種および土日祝日における集団接種会場の充実を図る
- ② SNS等でワクチンに関する誤った情報が若年層において蔓延している。本市としても積極的に若年世代に向けた正しいワクチン情報の提供を行う事等です。



【8月の献血活動】

浅野さち “市議会便り”



現在、私は建設・経済委員会副委員長として、災害対策や住環境の整備、道路交通の安全確保や水害対策などに取り組んでいます。
また、これまで重点的に取り組んで参りました高齢者福祉や障害者福祉また、健康寿命を延ばす為の、食事、運動、社会参加は重要です。
子育て支援においては、妊娠・出産・子育てまで切れ目ない支援の構築を更に推進して参ります。
これからも命を守る施策に全力で取り組んでまいります!!